

多摩市高齢者在宅療養支援窓口

ニュース

令和4年 12月vol.8

多摩市高齢者在宅療養支援窓口は町の身近な在宅療養の相談窓口として、多摩市医師会館にあります。

医療・介護・福祉関係者からの在宅療養・介護療養に関する相談や、入退院に際しての医療・介護関係者からの相談、患者・家族からの在宅療養に関する相談を受けています。

「在宅療養」とは、高齢者が、住み慣れた自宅や地域で療養しながら長く生活できるよう、また、家族等に囲まれて在宅で最後を迎えることができるように適切な医療、看護、介護等の支援を行うことです。

在宅療養では、病院と同じように、自室のベッドが“病院のベッド”、電話は“ナースコール”です。住み慣れた地域の訪問医療・訪問看護・訪問介護等がお家に伺い機能を果たします。



在宅で最期まで看取りたいのですが？

自宅で最期まで自分らしくすごし、看取ってほしいというご相談もあります。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職員、訪問介護職員、介護支援専門員、管理栄養士等がご自宅に伺い、一人暮らしの方でも、高齢者2人暮らし、身内がない方も、ご自身の意向に沿いながら多職種が連携したチームとなり、24時間支え、ご自宅でのお看取りも可能です。



11/30はいい看取り「人生会議の日」です。ご自身の望む医療やケア（やりたいことや大切にしていることを受けたい医療等）について、もしもの時のために、前もって考え、家族等の信頼できる人や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有するようにしましょう。

相談の費用は無料です、守秘義務を厳守します。

在宅療養を始めている、始めているにかかわらずご相談いただけます
◎裏面に相談事例を載せておりますのでご覧ください。



多摩市高齢者在宅療養支援窓口

電話：042-357-1677

場所：多摩市永山5-15多摩市医師会館内

受付時間：月～金（祝祭日及び

12月29日～1月3日除く）10時から16時

担当：淵野・石岡

多摩市高齢者在宅療養支援窓口

ニュース

令和4年 12月

相談事例1 A氏 90代

(市民娘様から)遠方まで通院しているが、最近歩行ができにくくなってきた。訪問で診療してくれるところを紹介してほしい。また、在宅医療について知りたい。

→訪問診療や在宅医療、在宅で利用できるサービスなどについて説明。介護保険未申請であり、担当の地域包括支援センターを紹介。通院困難になった時に訪問診療機関に移行できた。

相談事例2 B氏70代

(病院相談員から)現在入院中で今後は在宅で看取りを希望されている。終末期医療やがんの疼痛管理等、対応可能な訪問診療機関を教えて欲しい。

→終末期やがん疼痛コントロール管理が対応可能な診療所を紹介する。その後は、24時間対応可能な訪問看護等も利用しながら在宅でお看取りすることができた。



相談事例3 C氏80代

(地域包括支援センターから)腰椎圧白骨折あり、在宅で過ごしていたが、夫が高齢で介護ができない状態。どこか入院可能な病院はあるかと相談。

→病院相談室に連絡を取り、無事入院することができた。その後リハビリを実施し、歩行可能になり在宅に戻られた。



相談事例4 D氏70代

(介護支援専門員から)難病で胃ろう造設、夜間のみ人工呼吸器を利用している。ショートステイ可能な医療機関を教えて欲しい

→ショートステイ可能な医療機関をお教えする。ショートを利用しながら在宅生活継続されている。

多摩市では、多職種が連携しながら在宅療養生活を支援します。様々な相談がありますが、お気軽にご相談ください。必要な機関に繋げ、住み慣れた地域で、自分らしく、安心した生活が送れるように支援したいと思います。

電話042-357-1677 (月～金)10時～16時

